

第10回中部ライフガードTEC2022～防災・減災・危機管理展に出展

出展概要

東海総合通信局(局長: 北林 大昌)は、令和4年10月4日(火)及び5日(水)に名古屋市港区のポートメッセなごやで開催された「第10回中部ライフガードTEC2022～防災・減災・危機管理展」に、貸出用移動電源車、災害対策用移動通信機器及び仮設交換機ICTユニットを展示・公開し、多くの来場者に観覧していただきました。

当日は、同電源車の性能や活用方法などについて説明を行ったところ、来場者からは、「発電機の出力はどのくらいか」、「この移動電源車は全国に配備されているのか」、「主にどのような設備に給電することを想定しているのか」、「実際にどこで活用した経験があるか」など、多くの質問が寄せられました。

また、「ネットワークの維持において、電力のバックアップ体制の構築は大変重要」、「災害救助の現場においても、救助隊員はタブレットを活用して救助活動を行うなど、発災直後の救助現場における通信環境の確保は極めて重要」といったご意見もいただくなど、情報通信分野における危機管理体制の関心の高さが伺え、当局の災害対策の現状に理解を深めていただくよい機会となりました。

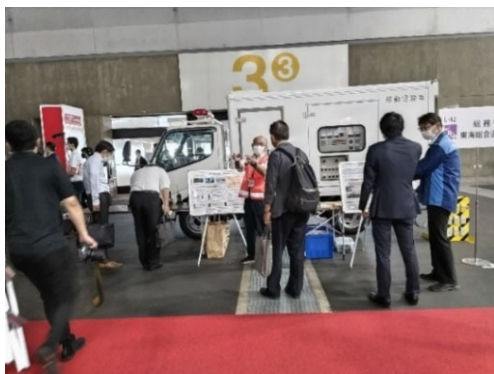
当局では、今後も災害発生時に被害を軽減し迅速な災害復旧作業が行えるよう、多様な情報伝達手段の確保を推進していきます。

<参考>

貸出用移動電源車は、災害の発生により重要な情報通信ネットワークの維持に支障が生じた場合等、電気通信事業者、放送事業者、地方公共団体から要請がある場合に貸与するもので、速やかに被災地に搬送します。

災害対策用移動通信機器等は、地方公共団体及び災害復旧関係者から要請がある場合に貸与するもので、速やかに被災地に搬送します。

出展模様



移動電源車の概要を説明



災害対策用移動通信機器等の展示



各種質問等への対応